

令和6年度 地歴科「日本史探究」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～E 組
教科書	『日本史探究』（実教出版）	副教材等	『新詳日本史』（浜島書店）

1 学習の到達目標

わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、わが国の文化と伝統の特色について、特に基礎基本事項を中心に認識を深め、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる社会人としての資質を養うことを目標とする。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1部 原始・古代の日本と東アジア	第1章 日本文化のあけぼの 1. 日本列島最古の文化 2. 縄文時代の社会と文化 3. 弥生時代の社会と文化	* 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解させる。 * 中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響	行動観察 課題プリント ノート レポート
5		第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 1. 小国の分立と邪馬台国 2. 古墳の出現とヤマト政権の成立 3. ヤマト政権の展開と統治の進展 4. 古墳時代の生活と文化 第3章 律令国家の形成 1. 古代国家の形成 2. 飛鳥文化・白鳳文化 3. 律令制度 4. 奈良時代の政治 5. 天平文化 第4章 古代の国家・社会の変容 1. 律令体制再編期の政治と社会 2. 摂関政治の成立と支配体制の転換 3. 国風文化	などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成過程について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 * 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。 * 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解させる。 * 古代の国家・社会の変容について、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。	レポート 小テスト 中間考査
6	第2部 中世の日本と世界	第1章 荘園公領制の成立と院政 第2章 中世の国家・社会の展開 1. 鎌倉幕府の成立と朝廷 2. 中世に生きる人々 3. 蒙古襲来と幕府の衰退 4. 鎌倉文化	* 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解させる。 * 武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解させる。 * 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解させる。	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト
7		第3章 中世の国家・社会の変容 1. 南北朝の動乱 2. 室町幕府の政治と外交 3. 室町社会の展開と応仁の乱 4. 室町文化 5. 戦国大名の分国経営	* 中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。	学期末考査
9	第3部 近世の日本と世界	第1章 東アジアの世界の変容と天下統一 1. 織豊政権 2. 天下統一の完成 3. 近世成立期の文化 第2章 幕藩体制の成立と展開 1. 幕藩体制の成立 2. 貿易の統制と対外関係 3. 近世社会のしくみ 4. 幕府政治の展開	* 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解させる。 * 時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現させる。 * 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解させる。	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 中間考査

10		5. 経済の発展 6. 元禄文化と学芸の発展 第3章 近世の国家・社会の変容 1. 幕藩体制の動揺と幕政の改革 2. 欧米列強の接近と天保の改革 3. 近世文化の成熟と変容	*産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解させる。 *近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察する。	
11	第4部 近現代の地域・日本と世界	第1章 開国から倒幕へ 第2章 明治維新 1. 明治維新 2. 文明開化 第3章 近代国家の形成 1. 立憲国家への道 2. 議会政治の展開と日清・日露戦争 3. 産業革命と社会の変化 4. 近代文化の形成と展開 第4章 両大戦間の日本 1. 第一次世界大戦 2. 政党政治の展開 3. 市民文化の展開 第5章 十五年戦争と日本	*幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の時代の転換を理解させる。 *明治維新、自由民権運動を基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解させる。 *大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解させる。 *第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解させる。 *軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解させる。	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 学期末考査
12		1. 満洲事変 2. 日中戦争 3. アジア・太平洋戦争（太平洋戦争）		
1		第6章 戦後日本の形成 1. 占領と民主改革 2. 独立と日米安保体制の形成 3. 高度経済成長下の日本 第7章 グローバル化のなかの現代日本 1. 「国際化」する経済大国 2. 新たな世紀の日本へ	*占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解させる。 *社会・経済・情報の国際化などを基に、政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解させる。	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 学年末考査

3 評価の観点

知識・技能	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、世界史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解している。また、我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付ける。
思考・判断・表現	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。さらに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。
主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

4 評価の方法

1. 中間・期末考査の得点が基本です。
2. 授業プリント・課題レポート等の提出、授業への取組姿勢、出欠状況、不定期に行う小テスト等の結果を踏まえ、総合的に3つの評価の観点に従い評価します。（夏休み・冬休みに課題を出すこともあります。）

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

1. 授業では、授業プリントを活用しますので、プリントを保管できるファイルを用意して下さい。
2. 教科書の他、副教材として図説や資料集も使用しますので、忘れずに持ってきて下さい。
3. レポートの提出や発表を行いますので、自分の視点や考察した考えをまとめて表現できるよう学習して下さい。